

モントレイ Monterey

サンフランシスコから南へ200Km。大平洋の真っ青な海と緑が美しい半島へと出る。これがモントレイ半島です。その北側に位置するのがモントレイの街。かつてカリフォルニアがスペイン領だった頃、本部がおかれていた街です。いまでも、街のところどころにその面影を残すアドービ（日干しレンガ）の建物が残っています。また、モントレイはアメリカ西海岸でも屈指の良港として知られています。今世紀初めには、港に隣接してイワシの缶詰工場などがありました。時代の流れとともに、缶詰工場は観光名所になり、この街は、港町というより観光地として知られるようになりました。また、著名な作家スタインベックは、この地を題材にいくつもの小説を書きました。小説のイメージがアメリカ人の持つこの街への造詣を高めているようです。



カーメル Carmel

暖かい気候と澄んだ空気、そして美しい海にひかれ、カーメルには多くの芸術家が住んでいます。街のモットーは“自然の中に住もう”。自然美をそこなうけバケバしいネオンはひとつもなく、信号もないに等しいです。どの建物も落ち着いた雰囲気、窓辺やテラスには季節の花が飾られています。カーメルは、ツアーバスなどのオプション・ツアーでモントレイとセットにはなっているというものの、まったく異なった雰囲気をもつ街です。

海岸から丘にかけて街が広がり、しかも街全体が緑でおおわれています。こじんまりとまとまった街の、碁盤のように延びる通りには、ギャラリーやセンスの良いブティックなどが景観をこわさないように並んでいます。ここには、アメリカにたくさんあるファーストフード・チェーンの看板すら見かけることもありません。ぷらぷらと歩きながら、自分のお気に入りの店やギャラリーを発見してはどうでしょうか。

..... 17 マイル・ドライブ

モントレイ、カーメルの2つの街に挟まれるようにして海に突き出すモントレイ半島。この半島を行く海岸線と森林に中を走る人気のドライブルーとが17マイル・ドライブ17 Mile Driveです。

4つのゲートから

アメリカにしては珍しい有料道路で、入口はモントレイ側からパシフィック・グローブ・ゲート、ルート1からのHwy. 1ゲート、そしてカントリークラブ・ゲート、カーメル側からのカーメル・ゲートの4ヶ所です。料金所で車1台につき\$7.25を支払うと、いよいよスタートです。

ゲートで渡される地図は、20のビュー・ポイントの説明が付いた詳細なコースガイドになっています。

パシフィック・グローブ・ゲート

Pacific Grove Gate

キャナリー・ロウを見物してから17マイル・ドライブにアプローチするときは、モントレイ側のパシフィック・グローブ・ゲートを利用します。このゲートから入ると観光ポイントはNo.4から始まります。標識に従い、松林を抜けるワインディング・ロードを進むとNo.4のスパニッシュ・ベイに出ます。湾沿いにはピクニックエリアがあります。このピクニックエリアの中心はポイントNo.5のスパニッシュ・ベイ・リゾートです。

緩やかなカーブを描きながら進んでいくとNo.6のThe Restless Seaと、No.7のポイント・ジョーに出ます。ここからは、スパニッシュ・ベイや大平洋の大海原を見渡すことができます。ここからNo.9、No.10のシール・ロック&バード・ロック Seal Rock & Bird Rocks間には、右に大平洋、左にゴルフコースを見ながらのドライブになります。

シール・ロック&バード・ロック

Seal Rock & Bird Rocks

地形の変化を生かした砂地まじりのゴルフコースを過ぎると、17マイル・ドライブの人気スポット、No.9、10のシール・ロック&バード・ロックに着きます。海岸線から少し離れたところに大きな岩があり、カモメやオットセイ、アシカがのんびりと羽根を休めたり、寝転んだりしています。双眼鏡があれば、より迫力ある姿をみることができるでしょう。また、ここにはピクニックエリアやトイレもあるので、ひと休みするとよいでしょう。

ローン・サイプレス

The Lone Cypress

ロックを過ぎると、左手にはポイントNo.13の白砂の海辺ファンシェル・オーバーlook Fanshell Overlookが、右手にはNo.12のスパイグラス・ヒル・ゴルフコース Spyglass Hill Golf Course が広がります。このゴルフコースは、クロスビー・プロ・アマ・トーナメントで有名です。

森林の中をしばらく走ると、No.14のサイプレス・ポイント Cypress Point への分岐点に出ます。ここには、波打ちぎわに展望台があり、そこから岩に砕け散る荒々しい波を見ることができます。また、遠くにNo.16のローン・サイプレス The Lone Cypressを望むこともできます。“ひとりぼっちの松”と、その名のとおり、断崖の上にポツンと立っている1本の糸杉は、北カリフォルニアのシンボルでもあります。アメリカ人観光客がしきりにカメラのシャッターを切っています。ローン・サイプレスから、途中のNo.17のゴースト・ツリー Ghost Treeの中をくぐり抜けます。このあたりの木の幹は、風や波しぶきを受けて白くなっています。

フィナーレは光りと風のペブルビーチ Pebble Beach

緑豊かな杉に木林を走り、しばらくすると視界がひらけてきます。そこはポイントNo.19のペブルビーチです。世界的に有名なペブルビーチ・ゴルフリンクス Pebble Beach Golf Links があるところです。このゴルフコースは1919年に設立された由緒ある名門コースで、ジョン・F・ネヴィルによってデザインされました。以来、1972年1982年のUSオープン、1977年のPGA チャンピオンシップなどの大きな大会が行われています。

スポーツマンや政治家、実業家など各界の著名人にも人気があり、海、断崖、砂浜、松林、池などを巧みに配したリンクスは、世界中のゴルファーの憧れになっています。米国内のゴルフ場コース、ベスト10には、必ずその名がランキングされています。

また、ピング・クロスビーが愛した光りと風のリゾートとして知られるだけあって、眺望もバツグンです。“水晶”の意味があるペブルの名のとおり、美しい渚はまるで水晶をちりばめたかのようです。

17マイル・ドライブ

17Mile Drive

ペブルビーチ周辺

ペブルビーチ帯には、ガソリンスタンド、郵便局、ショッピングアーケード、レストランやデリカテッセンなどがあります。しかし、さすがに高級住宅街なので、値段はどこも高めです。



最後に・・・

17マイル・ドライブは、ペブルビーチをフィナーレとして幕を下ろします。これより先、カーメルに抜ける場合は、カーメル・ゲートのサインをもとに進路をとり、CA-1に乗りたい人はカーメル・ゲートを過ぎたあと、山の中を上っていくとゲートに出ます。

このドライブウェイは、ただひたすら走るのみなら30分もかかりません。穏やかな白砂ビーチ、大平洋の激しい波と風がつくり上げた断崖、岩場に集まる鳥の姿、松林と咲き乱れる花々、そしてそこにたたずむ動物たち。自然の景観とじっくり会話をかわしてこそ、このドライブの価値が生まれてくるのではないのでしょうか。なにも急ぐことはありません。のんびり、豊かな気持ちでこの17マイルを走ってください。